守屋はまちの大工さん!

住まいのことで気になることは
何でもご相談を

猫用ゲート

こんな時にもお役にたちます!

きょうだい猫ちゃん２匹と暮らすお客様からのご依頼で、窓に脱走防止の猫用ゲートを作りました。部屋に風を通すため網戸にしていると、元気なニャンズは体当たりして網戸を外し脱走してしまうのです。
昔は自由に外を歩く飼い猫もいましたが、最近は安全面・衛生面・近隣への配慮などから、屋外には出さない“室内飼育”が推奨されているようです。
外が大好きな２匹が、家の中でストレスなく過ごすには、どうしたらいいだろう?…とご相談いただきました。

BEFORE

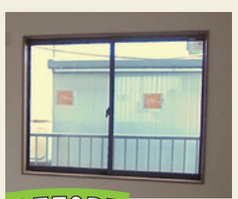
AFTER

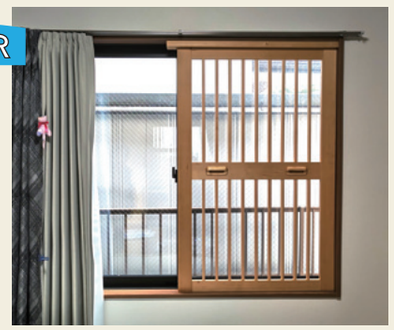
AFTER

落ち着きを感じる木の風合いがお好きということで、ひのきで作製しました。
大工の造作なので、窓枠ピッタリのサイズです。
柵は着脱可能ですので、サッシまわりの掃除の際には取り外して作業ができます。
猫ちゃんが座るためのカウンターも作りました。

BEFORE

「外の空気を感じながら、のんびりと景色を眺めることが出来るので、猫ちゃんたちのストレスも減ったようです」と喜んでくださいました。


BEFORE


AFTER

Moriya 通信 No.65 2025.12

— 住まいの玉手箱 —

東京都Ｔ邸

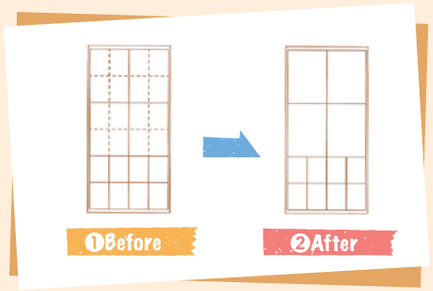
p2 かつての面影と新たな要素が共存するシンプルモダンな住まい
p3 みんなのコラム「秋といえば」
p4 守屋はまちの大工さん「猫用ゲート」

(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2 TEL 042-322-5438
E-mail:info@moriyakoumuten.com
http://www.moriyakoumuten.com

和室

畳の良さと、ムク材の表情とのバランスがとれたモダンな和室となりました。床の段差はなく、バリアフリーなので、広々と感じられます。

障子



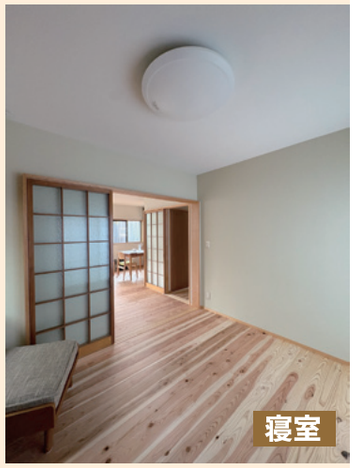
既存の障子を再利用し、造作を加工取り付けしました。一般的な格子①の一部を外すことで、個性的なデザイン②に。

階段

階段は、安全性を一番とし、滑り止めとしっかりつかめる手すりをデザインしました。
ここにもムクの床が続きます。

リフォーム　東京都T邸

かつての面影と新たな要素が共存するシンプルモダンな住まい



寝室

お休みになる寝室は、落ち着きのあるシンプルな空間としました。表紙のダイニングルームから続くムクの床材が気持ちいい。

キッチン

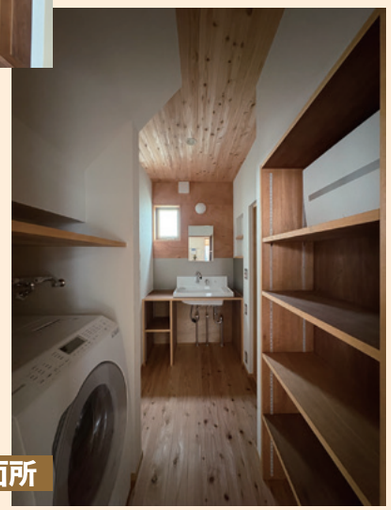
お料理好きなお施主様の思いを取り入れたキッチン。機能性とメンテナンスのしやすさを重視したシンプルデザインです。使いながら自由にアレンジできるよう、造作キッチンとしました。

廊下のニッチでは、木彫りのネコちゃん3匹がお出迎え。

玄関

既存の上り框がしっかりとした重厚感のあるものだったので土間タイルと共にそのまま残し、自然な杉板とマッチさせました。

洗面所



設計：アトリエムスタ　黒澤 彰夫様

みんなのコラム

秋といえば

社長
もりや

四季の中で、秋が一番好きです。これから冬に向かっていくという過程の過ごしやすい時期であり、秋の夜長に自然の風を感じながら星を眺めたりする時間がとても心のリフレッシュになります。普段忙しさに流されていると窓からの自然の風を感じる時間も少ないですが、窓を開けられるという貴重な時期でもあり、秋の為に風通しのよい間取りにしているといっても過言ではありません。省エネ性などを考えるとどうしても窓は小さくしがちですが、空気が流れる配置だけはこれからも大事にしていきたいです。

今年はどのくらい秋を過ごせたでしょうか…。冷暖房いらずで、外から聞こえる虫の音を聞きながら読書を楽しんだり、秋の旬の食材を料理して舌鼓を打つ。様々な木々の紅葉や秋の花々を鑑賞する。暑すぎず、寒すぎず、適度な気温で過ごせることが、こんなにも大切になってしまったことを感じ、大切な時間を大事な人たちと楽しみたいです。

経理 とよだ

秋といえば食欲の秋だが、何と言っても「さんま」でしょう。秋の刀の魚と書くでしょ。何だか昔を思い出します。小名浜から車に沢山魚を積んで、音楽を鳴らしながら売りに来ていたな。音楽は三橋美智也の「哀愁列車」だ。
村の人達は、待ちに待ったかのように新鮮な秋刀魚を買った。小名浜の方では当時、あまり米が手に入らなかったのかお米と交換した。物々交換だ。米一升にバケツいっぱいの秋刀魚。
売りに来た魚屋さんは、焼くだけでなく、刺身もおいしいよとさばいてくれた。子どもながら、初めて食べた新鮮な秋刀魚の刺身は旨かった。今じゃ高くて、秋刀魚も食べられないね。

現場担当 おおもり

職業柄か思い浮かべるのは台風が怖い季節ですね。私自身が心配性なので、足場が架かっている現場は特に気掛かりです。シートがあおられていないか、資材が飛ばされてないか等、心配事は尽きません。十分に対策をとっても、夜中に台風が接近すると眠れないことが多いです。近年は近海で発生して接近が早い事も多いので、情報に注視して事故が無いように対策をとりたいと思います。

現場監理
たちばな

現場監理
かさはら

秋の思い出を２つほど…。
◇私が小学生の頃、毎年行っていたお祭りでの出来事です。祖父の家の近くにある小さな神社ですが、屋台も出て賑やかでした。買ったおでん串が熱いので冷まそうとした兄は、思いっきり腕を振り回したのです。数秒後に私が見たのは、串だけを持つ兄の姿…(笑)
◇私の田舎長野では、11月（←ギリギリ秋？）に『えびす講』という大きな花火大会があります。娘たちが中学生の頃、会場の河原に見に行きました。車で行ったので先に娘たちを降ろし、駐車場に停めて合流すると…そこには、知らないご家族のレジャーシートに座らせてもらい、おでんをご馳走になっている娘たちの姿が…?!　おでんの話が２つになってしまいました。